

(案)

「民都・大阪」フィランソロピー会議の設立について

わが国において、NPO や社会的企業など新たな公共の担い手の増加、CSR（企業の社会的責任）への関心が進む一方、世界では、寄付や投資等を通じた公益活動が、社会的課題解決の第三の道として新たな時代の潮流となっている。

都市発展の歴史において民の力が大きな役割を果たしてきた大阪は、「民」主役の社会づくりを発信する「民都」として、フィランソロピーの促進により、税による分配ではない第2の動脈（フィランソロピー・キャピタル）として資金や人材を集め、非営利セクターの活性化を通じて、「フィランソロピーにおける国際的な拠点都市」をめざしている。

そこで、多様な担い手が、法人格の縦割りや営利・非営利の区分を越えて一堂に集い、それぞれが公益活動を担う主体だということを再認識し、大阪の民の連携・協力によりその存在感を国内外に示す「核となる場」として、「民都・大阪」フィランソロピー会議を設立することとした。

平成 30 年 2 月 5 日

「民都・大阪」フィランソロピー会議